

モジャコ情報 (平成17年第1回調査結果)

調査期間：平成17年3月2～10日

調査船：おおすみ 63t

調査海域：西薩，南薩，屋久島，種子島，大隅

鹿児島県水産技術開発センター

平成17年3月14日発行

1【海況】・・・“やや低め”から“平年並み”

- ・ 黒潮北縁域は中之島の北7マイルにあり(3月8日現在)，離岸傾向にある。
- ・ 定期船による観測では(3月8日現在)，黒潮流域で20.80 (かなり低め)，薩南海域で17.95 (やや低め)，西薩海域で15.80 (やや低め)であった。
 - 1 平年値は，昭和56年から平成12年までの平均値。

2【調査結果】

(1) 流れ藻の分布・・・昨年同期に比べて少ない

- ・ 流れ藻の視認個数は合計18個であり，10マイル当たり0.4個で，昨年同期(0.9個/10マイル)に比べて少ない。また，平年同期(1.5個/10マイル)に比べて少ない。
- ・ 採取した流れ藻重量は0.3～3.6kg(平均1.2kg)で，昨年同期(1.1～16.1kg 平均4.5kg)に比べて小型の藻である。また，視認された流れ藻も小型であった。
- ・ 調査海域全域において，まとまった流れ藻は見られなかった。

(2) モジャコの付着状況・・・昨年同期に比べて少ない

- ・ 採取した流れ藻は8個であり，流れ藻1kg当たりの付着尾数は4.1尾で，昨年同期(12.1尾)比べて少ない。また，平年同期(4.6尾)に比べて少ない。
- ・ モジャコが採捕されたのは屋久島海域の5カ所のみで合計38尾であった。

(3) モジャコの大きさ・・・昨年同期に比べてやや大型

- ・ 採捕したモジャコの全長は平均31.2mm(範囲：20～54mm，モード：20～24，25～29，30～34mm)であり，昨年同期(23.8mm)に比べてやや大型である。また，平年同期(41.8mm)に比べて小型である。
 - 2 平年とは平成7年から平成16年までの3月の平均値。

表1 海況及びモジャコの付着状況(3月)

調査項目	海 域	平成17年	平成16年	平成15年	平成14年	平成13年	平成12年	過去5年平均	平年(H7～16)
流れ藻視認個数 (10マイル当たり)	大隅	0.0	0.0	0.6	0.2	0.5	0.0	0.3	0.2
	種子島	0.0	0.1	0.3	0.3	2.0	0.1	0.6	0.4
	屋久島	0.8	0.5	15.9	0.9	0.7	0.2	3.6	2.1
	南薩	0.3	1.8	20.0	2.4	0.7	0.5	5.1	3.1
	西薩	0.2	1.9	5.6	1.1	2.0	2.7	2.3	2.3
	平均(全海域)	0.4	0.9	9.1	1.2	0.8	0.2	2.4	1.5
流れ藻1kg当たり のモジャコ付着尾数	大隅					0.0	0.0	0.0	4.3
	種子島					5.5	6.8	6.2	6.2
	屋久島	5.2	17.3	0.7	0.2	2.8	0.2	4.2	4.5
	南薩	0.0	1.9	3.6	2.7		26.9	8.8	7.1
	西薩		1.4	1.0	0.2		4.9	1.9	1.5
	平均(全海域)	4.1	12.1	0.8	0.8	3.0	3.7	4.1	4.6
モジャコ平均全長 (mm)	大隅								28.2
	種子島					42.1	43.5	42.8	38.5
	屋久島	31.2	24.0	49.4	34.8	49.2	77.0	46.9	46.9
	南薩		20.3	38.3	51.3		27.4	34.3	37.4
	西薩		20.1	38.5	24.1		32.8	28.9	35.8
	平均(全海域)	31.2	23.8	46.6	48.0	46.8	39.5	40.9	41.8
定期船観測による 各海域の3月上旬 平均水温()	黒潮流域	21.20	21.91	22.35	22.58	21.87	22.25	22.21	21.98
	薩南海域	18.50	19.12	19.62	18.60	18.60	20.22	19.15	19.25
	西薩海域	15.89	15.58	16.11	16.57	15.50	19.50	16.70	17.04

3 空欄は流れ藻を採取できなかった又はモジャコが付着していなかったことによる欠測。

4 定期船観測による各海域の平均水温()の平年値は，S56～H12の平均である。